

# みなみかぜ

## 令和5年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

### 学校教育目標「自らの夢に向かう」に関して

夢についての話です。イチロー選手が小学生の時に書いた作文を紹介します。

僕の夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校と全国大会に出て、活躍しなければなりません。

活躍できるようになるためには、練習が必要です。僕は3才の時から練習を始めています。3才から7才までは半年くらいやっていたのですが、3年生の時から今までは365日中、360日は激しい練習をしています。

だから、一週間中で友達と遊べる時間は、5～6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。

そして、中学、高校と活躍して、高校を卒業してからプロに入団するつもりです。とにかく、一番大きな夢は、プロ野球の選手になることです。



小学生の段階で、はっきりした夢をもつだけでなく、その実現の方法まで考え、努力を継続していることに驚かせられます。

もう1つイチロー選手の言葉を紹介します。

「努力せずに何かできるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを『天才』と言うのなら、僕はそうだと思う。」

作文や言葉を通して、イチロー選手は、具体的な夢をもつこと、そして、そのために毎日継続して努力することの大切さを教えてくれていると思います。

お子さんはどんな夢をもっていますか。その夢を叶えるためにはこんなことをやっていけばいいねなど具体的にアドバイスしていただけるとありがたいです。

### おすすめの本シリーズ28

- ①本名「レンタルロボット」
- ②対象年齢：小学校4年
- ③120P
- ④作者：滝井幸代
- ⑤絵：三木謙次
- ⑥出版社：学研



学校の帰り道、「ロボット貸します」という店を見つけた健太は、自分のこづかいで第1ロボットを手に入れました。願いがかなって楽しい日々が続きましたが、兄として我慢しなければならないことも出てきて、けんかすることも。兄弟について考えさせられるお話です。